

令和6年度 第1回東部地区交通協議会

日時：令和6年7月29日（月）19：00～20：30
場所：田道ふれあい館 3階 第2・3会議室
（目黒区目黒一丁目25番26号）

次 第

1 経過等

関係機関との調整経過について

2 議題

- （1）さんまバスの利用実績について
- （2）周知活動の取組について
- （3）実証実験運行への意見について
- （4）利用者増加に向けた取組(案)について
- （5）今後の進め方について

3 配布資料

- 資料1 関係機関との調整経過（令和5年12月開催：地域公共交通会議）
- 資料2 さんまバス利用実績
- 資料3 周知活動の取組
- 資料4 実証実験運行への意見について
- 資料5 利用者増加に向けた取組(案)
- 資料6 今後の進め方について

4 その他

報告 令和5年度 第3回東部地区交通協議会 議事要旨

以 上

令和 5 年度 目黒区地域公共交通会議【第 2 回】

令和 5 年 1 2 月 2 6 日（火）

書面による開催

次 第

1 目黒区地域公共交通会議設置要綱改定

2 議題

東部地区地域交通バスの運賃変更等について（報告）

< 配布資料 >

説明文 資料説明及び意見用紙の提出について

資料 1 目黒区地域公共交通会議設置要綱（改定）

資料 2 東部地区地域交通バスの運賃変更等

資料 3 令和 5 年度第 1 回目黒区地域公共交通会議議事概要及び意見

参考資料 1 東急バスによる乗合バス路線の運賃改定申請（R5. 11. 30）

意見用紙 議題に関する意見等

以 上

令和5年度 目黒区地域公共交通会議【第2回】出席表

開催日時：令和5年12月26日(火)

開催方法：書面会議

No.	所属・役職等	氏名(敬称略)	出欠席	意見の有無	備考
1	目黒区都市整備部長	しみず としや 清水 俊哉	○	—	
2	目黒区都市整備部都市計画課長	さとう きんや 佐藤 欣哉	○	—	
3	目黒区都市整備部みどり土木政策課長	しみず まこと 清水 誠	○	—	
4	東京都交通局自動車部計画課長	わかた みずほ 若田 瑞穂	○	—	
5	東急バス株式会社運輸事業部計画部地域交通グループ課長	いし よういち 石 洋一	○	—	
6	小田急バス株式会社バス事業本部計画部課長	ふるや ひろぶみ 古谷 弘文	○	—	
7	一般社団法人東京バス協会乗合業務部長	よねざわ あきひろ 米澤 暁裕	○	—	
8	一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会業務部業務部長	こいけ たけし 小池 毅	○	—	
9	目黒区町会連合会	みしば のぶお 三柴 伸生	○	—	
10	目黒区商店街連合会	すわ たかし 諏訪 尊	○	○	別紙参照
11	目黒区老人クラブ連合会	やまぐち たけし 山口 武志	○	○	別紙参照
12	区民(公募)	いけうち たかし 池内 卓	○	—	
13	区民(公募)	かわはら ひろこ 川原 寛子	○	—	
14	国土交通省関東運輸局東京運輸支局 首席運輸企画専門官	かまづか としみつ 鎌塚 俊充	○	—	
15	東京都交通運輸産業労働組合協議会 バス部会事務長	しむら まさき 志村 雅貴	○	—	
16	東京都交通運輸産業労働組合協議会 ハイタク部会事務長	くが つねお 久我 恒夫	○	○	別紙参照
17	国土交通省関東地方整備局 東京国道事務所管理第一課長	とまる おさむ 外丸 修	○	—	
18	東京都建設局 第二建設事務所管理課長	やました くにひろ 山下 邦洋	○	—	
19	目黒区都市整備部土木管理課長	はら あきみち 原 亮道	○	—	
20	警視庁交通部交通規制課管理官(調査担当)	ふじひら ただはる 藤平 忠晴	○	—	
21	警視庁目黒警察署交通課長	きくち あさみ 菊池 あさみ	○	—	
22	警視庁碑文谷警察署交通課長	やました のりお 山下 憲雄	○	—	
23	学識経験者 東京都市大学建築都市デザイン学部准教授	いながき ともゆき 稲垣 具志	○	○	別紙参照

意見書

別紙

(1) 東部地区地域交通バスの運賃変更等について(報告)

- 運賃の値上げについては、おおむね賛成です。
乗務員不足、エネルギー価格の上昇を考えると申請上限の250円でも低いと思います。
タクシーをアプリより配車すると初乗り運賃区間で運賃以外に500円ほど加算され合計1000円程度かかりますし、バスを利用する場合、多少徒歩の区間が必要ですが、400～500円かかっても良いのではと考えます。
低所得世帯には別途補助すればよいと思います。
- 公平性の観点から変更はやむを得ないと思います。
- 賛成の立場から、社会の経済的な流れの中仕方がないでしょう。
- 資料2に記載の「東急・東急バス一日乗車券」の金額は正しいのでしょうか。

その他自由記述欄

- 軌道にのった時点でシルバーパスの利用可を検討していただきたい。
(高齢者の利用が多いと思うので)

■ 東部地区地域交通バスの運賃変更等について

道路運送法第9条第4項の規定に基づき、目黒区東部地区地域交通バス(目黒区総合庁舎～目黒駅前)の路線について、令和5年12月13日に以下の4者の構成員により運賃等の協議を行い決定した。

【構成員】

区分	組織名
当該路線等をその区域に含む区市町村	目黒区
当該運賃等を定めようとする一般乗合旅客自動車運送事業者	東急バス株式会社
当該路線等を管轄する地方運輸局	国土交通省関東運輸局 東京運輸支局
区市町村の長が関係住民の意見を代表する者として指名する者	目黒区町会連合会

【運賃及び料金】

項目	金額(変更前)	金額(変更後)
普通旅客運賃(片道)	(大人)現金・IC 220円 (小児)現金・IC 110円	(大人)現金・IC 230円 (小児)現金 120円、IC 115円
東急バス一日乗車券	520円(大人) 260円(小児)	540円(大人) 280円(小児)
東急線・東急バス 共通一日乗車券	1,070円(大人) 540円(小児)	1,090円(大人) 560円(小児)
普通回数旅客運賃	220円券×10枚綴り 2,000円 (大人) 110円券×10枚綴り 1,000円 (小児) 110円券×10枚綴り 1,000円 (大人<障害者>) 60円券×10枚綴り 500円 (小児<障害者>)	230円券×10枚綴り 2,000円 (大人) 120円券×10枚綴り 1,000円 (小児) 120円券×10枚綴り 1,000円 (大人<障害者>) 60円券×10枚綴り 500円 (小児<障害者>)
身体障害者割引	普通旅客運賃 5割引 回数旅客運賃 5割引	普通旅客運賃 5割引 回数旅客運賃 5割引
知的障害者割引		
児童福祉法適用者割引		
精神障害者割引 ※東京都が発行する精神障害者保健福祉手帳(写真添付のあるもの)に限る		

項目	金額（変更前）	金額（変更後）
幼児（1歳以上～6歳未満）	小学生以上に同伴する幼児2人まで無料、幼児単独で乗車する場合は小児運賃	小学生以上に同伴する幼児2人まで無料、幼児単独で乗車する場合は小児運賃
乳児（1歳未満）	無料	無料
令和6年3月26日～3月31日の運行	通常運賃	無料

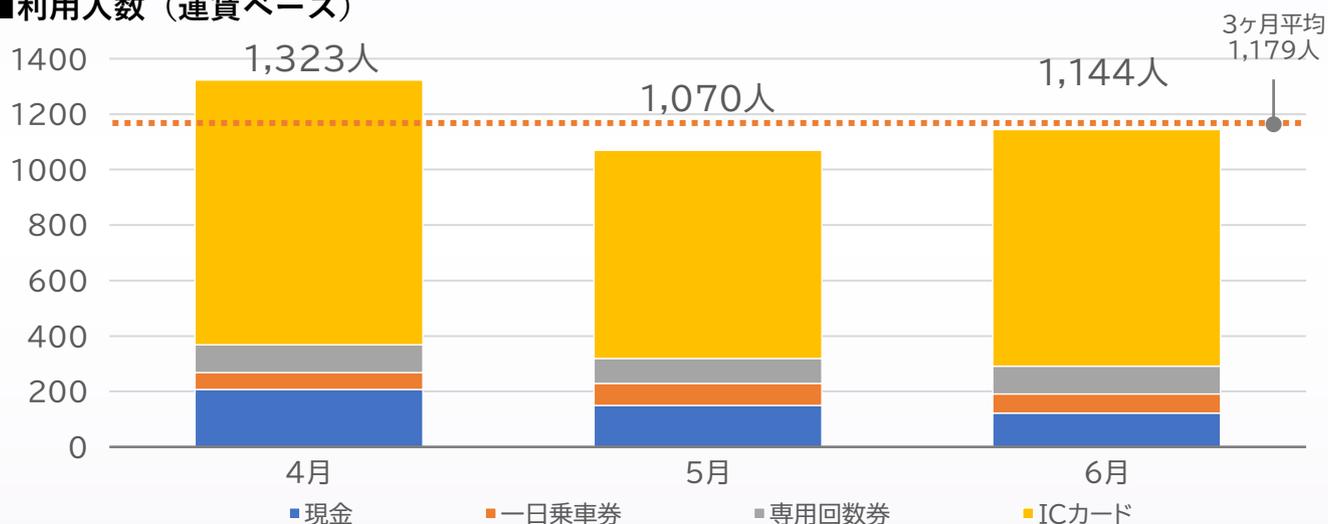
※ 旅客運賃の計算方法

- （1）小児運賃は大人運賃の半額とし、10円未満の端数は10円単位に四捨五入する。
- （2）運賃計算上の端数は10円単位に四捨五入する。
- （3）ICカードにより普通旅客運賃を収受する場合（その全額をICカードにより収受する場合に限る）において、当該普通旅客運賃額を1円単位とする場合における上記（1）および（2）については、「10円」とあるのは「1円」とする。

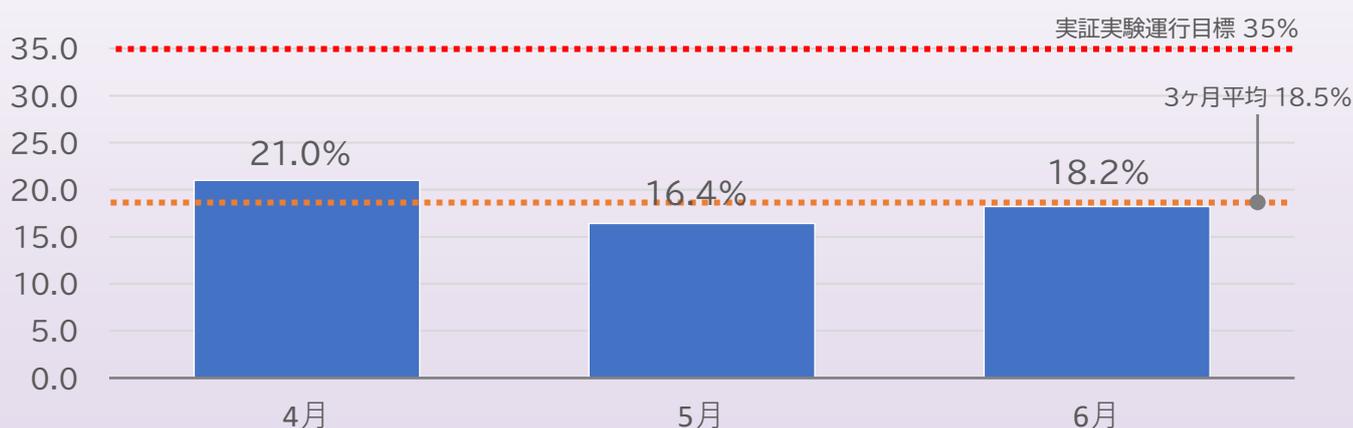
(1)さんまバス利用実績

- ・利用者数は4月は1,323人、5月は1,070人、6月は1,144人となっており、3ヶ月平均では1,179人が利用しています。
- ・支払方法はICカードが最も多く、回数券や一日乗車券の利用も一定程度みられます。
- ・利用率は4月が21.0%、5月が16.4%、6月が18.2%で3ヶ月平均して18.5%となっており、実証実験運行目標の35%には届いていません。
- ・収支率は、一年間の運行経費(ドライバー等人件費、電力費、諸経費)に対する収入額(運賃収入、広告収入等)の割合であり、7月1日から12便運行が開始されたことから、推移を確認していきます。
- ・バス停別の利用状況は、起終点と病院(厚生中央・東京共済)、恵比寿ガーデンプレイスの利用が多くみられます。また、三田周辺地域からのご利用も増えています。
→7月より増便となりましたので、引き続き利用動向に留意し、運行方法の見直しや利用促進対策を実施していく必要があります。

■利用人数 (運賃ベース)



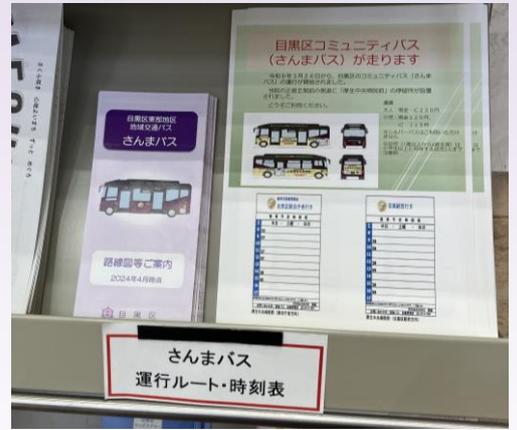
■利用率 (利用者数/車両定員)



厚生中央病院様

■周知活動

- ・リーフレットの掲示
- ・院内掲示板での情報提供
- ・ラッピング(広告)バス



②区の広報対応

発信日	タイトル
4/11	東京MXテレビnewsFLAG
5/15	小学館『DIME』7月号 (東急バス様にてご対応)
5/25	Sirabeeリサーチ (web)
6/1	バスラマインターナショナル「BUSRAMA」2024MAY203 (ぼると出版)
6/1	東京MXテレビ「ぐるり東京 江戸散歩」区長にききたい!東京ハッピーライフ ~目黒区~
7/10	目黒法人会(椎の木7月号) 区役所だより

東京・目黒を走る"さんまバス"、思わず二度見する 「運行ルートが落語の…」役所が明かす由来

東京・目黒の街を走る「さんまバス」、役所に取材したところ、古高橋(目黒のさんま)に由来することが明らかになった。

2024/05/24 07:45 / 斎藤 聡人

■「運行ルートが落語の舞台」役所が明かす由来



印象的な「さんまバス」の由来が気になる。こちらの疑問をぶつけたところ、担当からは、「運行ルートが、落語の『目黒のさんま』の舞台となる茶屋敷やさんま祭が行われる出陣エリアを走ることから、東部地区の地域交通バスの愛称名が「さんまバス」となりました。バスのラッピングには、区の花章色(江戸紫)をベースとしてさんま柄の模様を描いています」という回答が寄せられた。

Sirabeeリサーチ(WEB)



東京MXテレビ「区長にききたい!東京ハッピーライフ」



2024 春のオムニバス 目黒の「さんまバス」誕生

目黒とサンマは古典落語の演目以来、浅からぬ関係があるが、その名を冠したバスが誕生した。目黒区東部地域交通バス「さんまバス」がそれ。目黒区東部、一部は品川と港区にも接するエリアは坂が多く道路が狭隘な交通不便地区で、地元の人々は長年にわたる公共交通の開設に期待を寄せてきた。道路環境に加え所轄警察が多く、沿線住民にも様々な意見がある中での運行が実現した。7月までは日に6便だが、本格運行が始まれば地域のアイコンとして親しまれる存在になるとい。用意された専用車はBYD製の16.207 3台。目黒営業所に配備された。東急バスは近々BYD K8大型電気バスも目黒、瀬田、弦巻の各営業所に導入する。



BUSRAMA 2024MAY203 (ぼると出版)

・運行開始後、目黒区に対して運行ルートの見直しや新たなバス停留所の設定、職員利用を見込んだ運行時間帯の追加についてご意見を頂戴しております。
→利便性向上に向けて想定される対応策を検討します。

主な意見（抜粋）



走行ルート

・田道ふれあい館に向かうのに目黒駅からしか向かうことができない。



バス停留所

・既存バス停を追加できないか
・目黒駅の手前にバス停が欲しい



運行便数

・1日の運行便数が少ない
・夕方に区役所から帰る便が欲しい



広報周知

・運行していることの広報をしてほしい
・さんまバスがどのルート走行していて何時にくるのが分からない。

想定される対応策（案）

●運行ルートの見直し

・総合庁舎→目黒駅前行便について茶屋坂から田道ふれあい館を経由するルートを検討

●バス停の増設

・既設：目黒警察署前のバス停を使用
・新設：アクティ目黒駅前に新設

●運行時間帯の追加

・7月より運行間隔を45分として便数を倍増
・区職員の帰宅需要を期待した夕方便の追加（総合庁舎発17時台の1便増加を検討）

●わかりやすさの向上

・東急バスナビの周知
・Googlemapへのさんまバスの情報提供
・利用者の立場にたった更なる広報活動の実施を検討（資料5にて詳述）

■利用者からのご意見（抜粋）

受付	形態	内容
5月	電話	<p><乗車感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日乗車券の利便性をPRすべき、高齢者には利用しやすい。 ・目黒一丁目バス停は区役所行きルートにもあったほうが便利 ・東京共済病院と東京共済病院前がわかりづらい ・恵比寿ガーデンプレイス南バス停は、目黒駅行き方面もあるとよい。 ・バス最終便は、目黒営業所まで運行していると便利 ・昔、権之助坂～三田通り～恵比寿～渋谷のバス路線があった。このバス路線運行開始で懐かしく思い出した。 ・乗車し、楽しく面白い路線と感じた。
6月	メール	さんまバスのグッズ(シール等)はどこで販売してるのでしょうか？ また、目黒区職員の通勤帰宅時間帯にもさんまバスを数便走らせてはいかがでしょうか。
	窓口	シルバーパスが利用できないことへのご意見
7月	電話	目黒駅前バス停の位置 厚生中央病院へ行きたいが、そのまま乗ればよいか？
		乗車料金、シルバーパス利用可否の問合せ
7月	来庁	さんまバスを利用しているが、利用者が少ないと1年でなくなると聞いたが、せっかくできたのになくなるのは寂しい。

(4)利用者増加に向けた取組(案)

■さらなる広報活動に関する取組

- ・地域の皆さんがさんまバスに興味を持っていただくための取組として、さんまバスに関する協議会ニュースを定期的に発信するための広報資料の作成・配布が考えられます。
- ・広報資料の内容としては、さんまバス利用の現状報告に加えて、さんまバス利用のきっかけとしていただくためにモデルルートを紹介することなどが考えられます。
- ・掲載するモデルルートについては、さんまバスの利活用の方法がイメージしやすいように、東部地区にお住いの皆さんの日常生活に合わせて検討していきます。

資料の配布・周知

●アンケート調査と同時配布

●地元での周知

- ・回覧板での各戸配布
- ・地区の掲示版での貼り付け

●施設での周知

- ・広報誌として提供
- ・沿道施設での配布・掲示

ルート検討

●モデルルート案

- ・「どんな方」に「どう利用」をして欲しいか分かりやすいモデルルート案の検討が求められます。
- ・モデルルートの検討にあたって皆さんのご意見をお聞かせください。

例①(右下図)

対象:高齢者

利用:通院+昼食・買い物ルート

例②

対象:子連れファミリー

利用:休日のお出掛けルート
(目黒桜並木散策、区民センター)

定期的な広報資料案

MEGURO ↔ SANMABUS

さんまバス通信

2024/06/00 Vol. 01

東部地区の地域交通バス(さんまバス)は地域の皆さんと一緒に東部地区交通協議会を設立し令和4年3月26日に実証運行を開始しました。今後は皆様からのご利用状況を踏まえ、移動しやすいサービスとして提供し続けるために効果検証を進めて参ります。

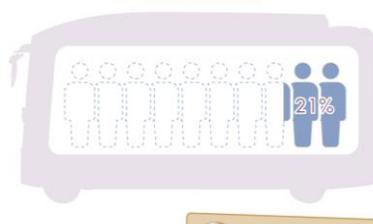
グラフで見るさんまバス (令和4年5月分まで)

- 3月26日の実証運行開始から、既に2か月が経過しました。運行初月の4月は1,323人/、5月は1,070人利用いただき、特にICカードでお支払いの利用者が多い傾向になっています。
- 乗車率(乗車定員数35人の埋まり具合)は21%となっており、実証実験初年度の目標値である35%まで届いておりません。みんなで一緒にさんまバスを盛り上げましょう!

利用者数(運賃ベース)



乗車率実績



7月からさんまバスが増便されました!

諸事情に現在は1日に6便の運行となっているさんまバスですが、令和4年7月より1日12便の通常運行に戻ります。便数が増えて更に便利になったさんまバスで楽しく便利に出かけてみませんか。

6便/日

▶ 12便/日

Column

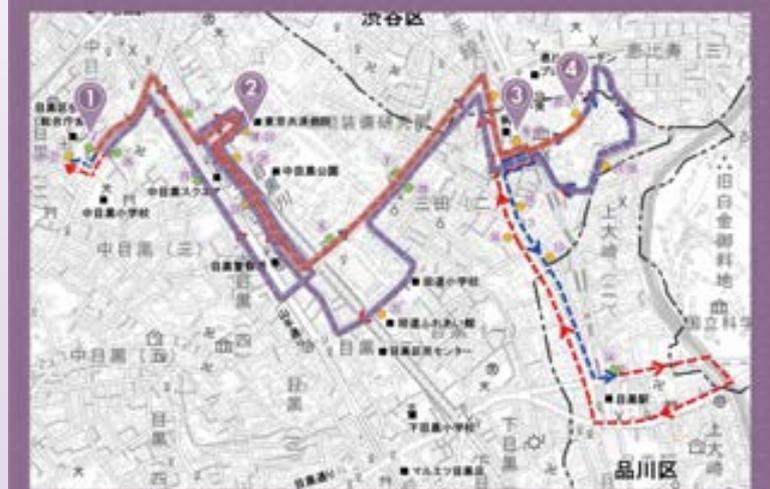
「さんまバス」が令和4年6月1日にTOKYO MXの番組「区長にききたい!東京ハッピーライフ」で放送されました!



モデルルートのイメージ

MEGURO ↔ SANMABUS

さんまバス利用モデルルート



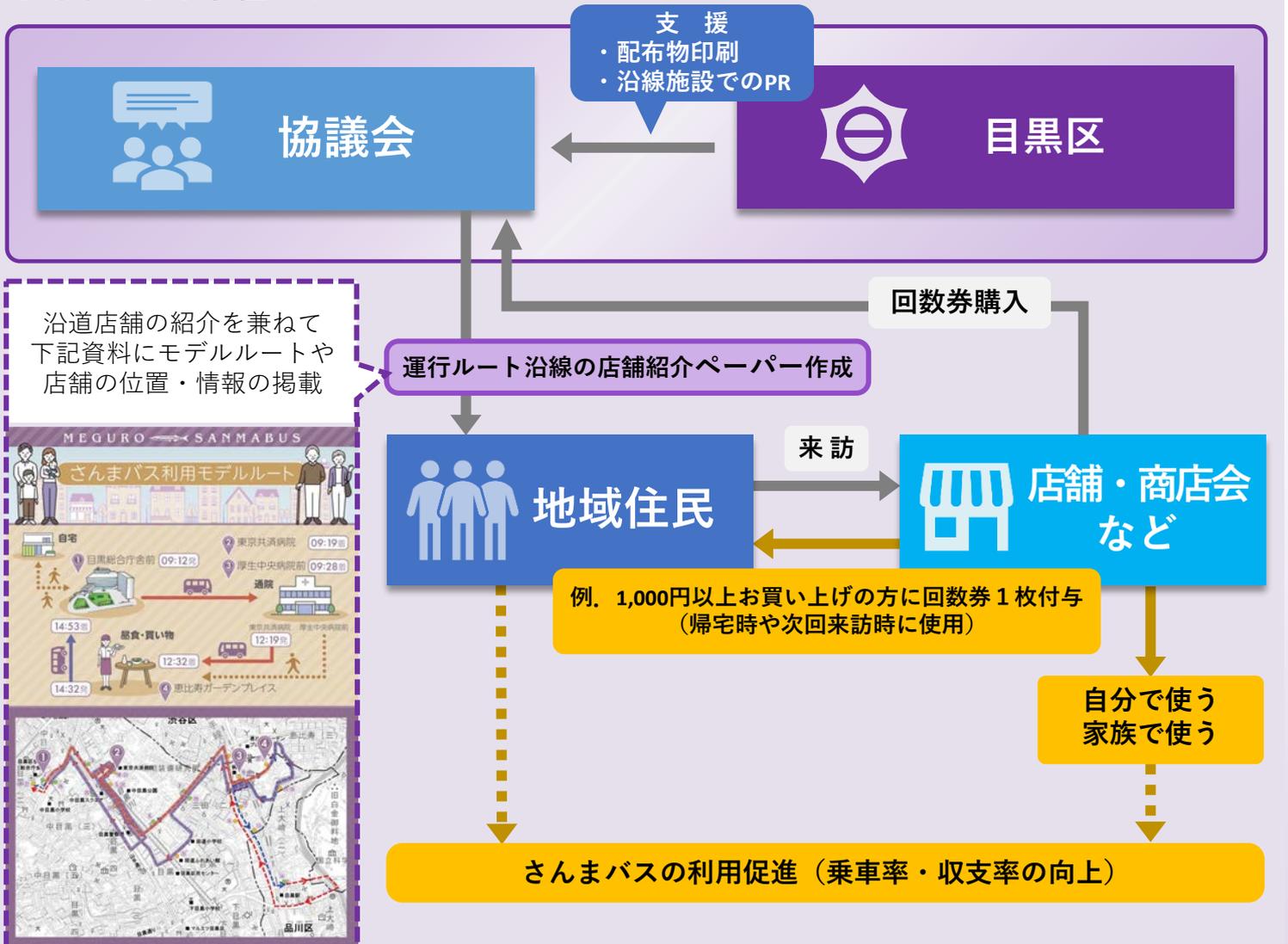
(4)利用者増加に向けた取組(案)

■さんまバスの利用促進及び収入確保に関する取組

- ・現時点におけるさんまバスの利用状況をみると、実証実験運行の実施にあたって設定した利用率等の目標値に対して低い状況となっています。
- 継続的な運行に必要な目標値の達成に向けて、沿線施設と連携したさんまバスの利用機会の醸成や収入確保に向けた新たな仕組みの構築などが考えられます。

目的	内容
沿線施設と連携したさんまバス利用機会の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・さんまバスの周知に併せて、ルート沿線の店舗や施設を紹介する広報資料(フリーペーパー)を作成し、地域住民に配布する。 ・さんまバスの利用者数の増加に加え、沿線店舗・施設の来訪機会の醸成を促す。
沿線施設と連携したさんまバスの収入確保のための仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・運行ルート沿線の店舗を紹介することで、店舗側は回数券を購入、条件を設定し特典としてお客さんに対して配布する。 ・もしくは購入者自身やご家族の利用も可能とし、使用に関する制限は設けず、回数券購入すれば広報される仕組みとする。

●地域による取組のイメージ



店舗紹介ペーパー (案)

(5) 今後の進め方について

資料6

1 「東部地区地域交通バス実証運行計画」について

東部地区交通協議会・東急バス株式会社・目黒区の三者で協定を締結し、令和6年度の運行計画を定めています。

項目	内容		
実証目的	・東部地区における移動が困難な住民等の通院、買物、区施設への移動支援 ・高齢者を中心とした外出及び地域活動への参画促進		
実証期間	令和6年4月1日から1年間の実施 ※上記期間における実証運行結果を確認し、必要に応じて実証運行内容を見直したうえで1年間の実験継続を認める (実証運行期間は最長3年間とする)		
実証対象	主に東部地区内における運行ルートの沿線住民及び施設利用者		
事業概要	運行方式	定時定路線型	
	事業者	東急バス株式会社	
実証内容	運行ルート ・周辺施設	運行ルート	目黒区役所～目黒駅を周回する約11.7km
		公共施設	目黒区役所総合庁舎、目黒区民センター、中目黒スクエア、目黒警察署、田道ふれあい館
		病院	東京共済病院、厚生中央病院
		駅	目黒駅
		商業施設	恵比寿ガーデンプレイス、ニトリ中目黒店
	公園	中目黒公園	
	バス停箇所	300m程度間隔で20箇所設置(うち新設12箇所)	
	使用車両	小型EVバス	
	運行日	平日及び土日祝	
	運行時間帯	8時30分～16時45分	
運行便数	1日12便(45分間隔)、4～6月は1日6便(90分間隔)		
運賃	大人230円(現金/ICカード)、 小児120円(現金)115円(ICカード)		
協議調整	・東急バス株式会社：運行、バス停の供用 ・国土交通省運輸局：道路運送法に基づく手続き・許認可 ・東京都：都バスの運行ルートの通行 ・道路管理者(目黒区、東京都、品川区、渋谷区)：ルート設定、バス停設置 ・交通管理者：ルート設定、バス停設置、安全性の確認		
広報計画	・区ウェブサイトでの運行内容の広報 ・ルート付近の施設やバス車内でのリーフレット配布 ・東部地区の回覧版での案内 ・ポスティングによるチラシ配布等		
調査計画	・利用実態調査：運行事業者の乗降データによる利用者数及び運賃収入の把握 ・利用者意向調査：住民アンケート調査による利用特性及び満足度の把握		

2 本格運行を目指した実証実験運行の事業評価について

実証実験運行の継続判断は、以下3つの基準項目を評価していきます。

- (1) 利用率：運行本数に対する利用者数の割合
- (2) 収支率：運行経費に対する運賃収入の割合
- (3) 満足度：実証運行後の利用者の意見

評価項目		
利用率	収支率	満足度
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者数 月毎の利用者数集計 ※ 利用状況の把握 バス停毎の利用傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運賃収入 ○ 広告収入 車体ラッピング広告 車内ポスター広告等 ○ その他収入 運賃収入の増に 繋がる方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常移動の 利便性の向上 ○ 高齢者の 外出機会向上 ○ 地域コミュニティ の創出

実証実験運行の当面の目標値

実証 35%以上	実証 35%以上	アンケート調査の満足度
目標値（片道）6.1人/便 現時点（片道）3.2人/便	$\frac{\text{（運賃収入 + 広告収入等）}}{\text{運行経費}}$	過去アンケートを参照し 項目設定。運行期間中の 継続した集計を行う。

利用者増加に向けた取組(案)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 運行ルート・バス停の見直し ○ アンケート(満足度の集計評価)+協議会ニュースレター(定期的な広報による周知) ○ 地域による情報誌等の作成・配布 ○ バス広告掲載の周知等

実証運行継続可否の評価



地域みなさんで地域交通を守り、育てましょう！